

24
25

 U-NEXT

 Premier
League



REPORT

サッカー試合解説レポート

MATCH

U-NEXT プレミアリーグ 【32】 0412_マンチェスター・シティVSクリスタル・パレス

DATE

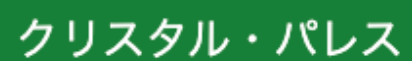
2025/04/12

NAME

田中裕介



4-2-3-1



3-4-2-1

プレミアリーグ・昨日

試合終了



5

—

2



クリスタル・パレス

ケヴィン・デ・ブライネ 33'
オマル・マーモウシュ 36'
マテオ・コヴァチッチ 47'
ジェームズ・マカティー 56'
ニコ・オライリー 79'



エベレチ・エゼ 8'
クリス・リチャーズ 21'



サブメンバー



10	ジャック・グリーリッシュ ↑	↑	マテウス・フランサ・ジ・オ...	11
11	ジェレミー・ドク ↑	↑	ナサニエル・クライン	17
18	シュテファン・オルテガ ↑	↑	ウィル・ヒューズ	19
26	サヴィオ・モレイラ・ジ・オ... ↑	↑	ベン・チルウェル	25
52	オスカー・ポプ ↑	↑	ジャスティン・デベニー	55
20	ベルナルド・シウバ		ジョエル・ウォード	2
22	ヴィトール・ジ・オリヴェイラ・...		レミ・マッシュューズ	31
27	マテウス・ヌネス		Franco Umeh	46
45	アブドゥッコディル・フサノフ		ケイレブ・クポルハ	58

監督

ペップ・グアルディオラ

0. グラスナー



チーム別データ



MATCH REPORT

SCORE 5-2 (1st 2-2 2nd 3-0)

TOP3 point

- ・電光石火の2得点。好調パレスの良さが出た序盤
- ・ボールを握り続けたシティスタイル
- ・ピッチに君臨した存在感抜群の背番号17

Trivia of this match

- ・この試合まで両チーム今シーズン直接FKでのゴールはなかった
- ・シティの新SDに就任するH・ヴィアナは同胞の大物代理人ジョルジュ・メンデスと良好な関係にある（現在の在籍選手はディアス、B・シウバ・N・ゴンサレスなど）
- ・パレス鎌田はグラスナー監督時代のフランクフルトで公式戦最多出場した(93試合)

【マンチェスター・シティvsクリスタル・パレス試合レポートまとめ】

(マンチェスター・シティの戦い方と試合展開)

前半：・立ち上がりはパレスの速い攻撃への対応が後手になる。特に自陣左サイドの守備（CBグバルディオール-SBオライリー間）に問題があった。スライドのタイミングがバラバラで危険なスペース生んでいた。

- ・先に2失点する苦しい展開。20分過ぎまでは相手の守備ブロックに手を焼きなかなかチャンスを作れない。
- ・時間の経過と共に相手守備陣の穴を見つけ出し相手陣地への侵入が増えてくる。特に左サイド側に位置したギュンドアンは前向きのプレーが増えて配球の中心にいた。
- ・徐々に攻勢を強めてゴール前のFKからデ・ブライネ、左サイドクロスの流れからこぼれ球をマルムシュ。電光石火の2得点で前半のうちに追いつく。

後半：・立ち上がりに左サイドを攻略。スルーパスに抜け出したSBオライリーのクロスでデ・ブライネが繋ぎ仕上げはコバチッチ。完璧に崩した。

- ・GKエデルソンのロングフィールドに抜け出したマカティーが1-1を制して4点目。相手DFラインの背後を突いた抜け目のないゴールだった。
- ・仕上げは左SBオライリー。右からのクロスに利き足の左でうまく合わせて5点目。試合を決めた。
- ・ボールを握りプレスの的を絞らせないボールの動かし方を披露。シティらしさが光る後半だった。

(クリスタル・パレスの戦い方と試合展開)

前半：・序盤は相手左サイドを攻略。右WBムニョス、右シャドーサールの関係で相手に脅威を与えた（先制点もサールからエゼ）

- ・奪ってからのカウンターでチャンスを作る。チームの形がうまく機能した序盤だった。
- ・2点目はCKから。ウォートンのキックからリチャーズのヘディング。見事なキックからの追加点だった。
- ・時間の経過と共に相手のボール回しについていけなくなり侵入を許す。特に右サイドシャドーサールの背後のスペースを活用されてしまう。
- ・2失点を喫し流れを完全に流れをシティに持っていかれる。

後半：・前半の守備の修正に着手。トップのマテタを下げて中盤のヒューズを投入。これにより5-2-3から5-3-2に変更。

- ・布陣変更に慣れる前に失点を喫してしまう。右WBムニョスの裏をオライリーに突かれコバチッチに決められ逆転を許す。結果的にこの失点は痛かった。
- ・後半はなかなか攻撃に出られなかった。要因としてはいい守備ができなかったこと。最後までシティのボール回しに手を焼いた。
- ・交代で入った左WBチルウェルの突破から何度かチャンスを作るが最後のフィニッシュを得点に繋がれず。

(総評) 立ち上がりは素晴らしかったパレス。3点目を奪うチャンスがあったのでそこで奪えれば違った結果になった可能性があった。

反対にシティは立ち上がりはうまくいかず2点リードされたが、その後は自分たちの強みであるボールを握り相手にプレスの的を絞らせない戦いを披露。

反撃の狼煙を上げた中心にいたのは主将デ・ブライネ。FKを含めて素晴らしい働き。背中で引っ張る彼の存在無くしてはこの逆転劇はなかった。文句なしのMVP。